

8. 世界と一体化した国際活動の戦略的展開

8. 世界と一体化した国際活動の戦略的展開

地球規模課題の解決への貢献、先端科学技術分野での戦略的な国際協力の推進、国際的な人材・研究ネットワークの強化等に取り組み、科学技術外交を戦略的に推進する。

(1) 先進国、開発途上国との共同研究等による科学技術外交の強化

○国際科学技術共同研究推進事業

平成25年度予定額：3,437百万円(平成24年度予算額：3,142百万円)

我が国の優れた科学技術とODAとの連携により、アジア・アフリカ等の開発途上国と、環境・エネルギー、防災、感染症、生物資源分野の地球規模の課題の解決につながる国際共同研究を推進する。

また、政府間合意に基づくイコールパートナーシップ(対等な協力関係)の下、欧米等先進諸国との最先端分野の共同研究や、成長するアジア諸国との共同研究を戦略的に推進する。



○戦略的国際科学技術協力推進事業

平成25年度予定額：839百万円(平成24年度予算額：1,029百万円)

政府間合意に基づき、イコールパートナーシップの下、戦略的に重要なものとして国が設定した相手国・地域及び研究分野において、研究集会開催、研究者派遣・招へい等を支援し、国際研究交流を推進する。

(2) 国際的な人材・研究ネットワークの強化等科学技術外交の基盤の整備

①研究者個人への支援

○海外特別研究員事業

平成25年度予定額：2,068百万円(平成24年度予算額：2,172百万円)

優れた若手研究者に対し所定の資金を支給し、海外における大学等研究機関において長期間(2年間)研究に専念できるよう支援する。

○外国人特別研究員事業

平成25年度予定額：3,563百万円(平成24年度予算額：3,589百万円)

分野や国籍を問わず、外国人若手研究者を大学・研究機関等に招へいし、我が国の研究者との研究協力を行うことを通じて我が国の学術研究の推進及び国際化の進展を図る。

②大学等研究機関への支援

平成25年度予定額：1,522百万円(平成24年度予算額：2,050百万円)

○頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣事業

研究組織の国際研究戦略に沿って、若手研究者を海外へ組織的に派遣し、派遣先の研究機関の行う国際共同研究に携わり、様々な課題に挑戦する機会を提供する大学等研究機関を支援する。

国際科学技術共同研究推進事業

／ 戦略的国際科学技術協力推進事業

平成25年度予定額：4,276百万円
 (平成24年度予算額：4,171百万円)
 ※運営費交付金中の推計額含む

国際科学技術協力の戦略的展開に資するため、先進国、開発途上国との共同研究等を推進し、地球規模課題の解決及び科学技術外交の強化、並びに若手グローバル研究人材の育成に貢献する。

国際科学技術共同研究推進事業

平成25年度予定額：3,437百万円
 (平成24年度予算額：3,142百万円)

※運営費交付金中の推計額

① 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS)

H24年度：2,293百万円→H25年度：2,393百万円

我が国の優れた科学技術と政府開発援助（ODA）との連携により、アジア・アフリカ等の開発途上国と、環境・エネルギー分野、防災分野、感染症分野、生物資源分野の地球規模の課題の解決につながる国際共同研究を推進する。

【実施体制】

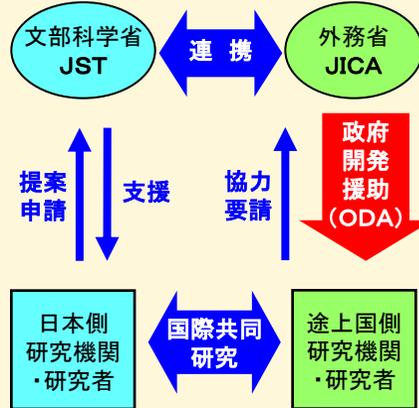
文部科学省及び科学技術振興機構（JST）と、外務省及び国際協力機構（JICA）が連携し、それぞれ日本側研究機関・研究者及び相手国側研究機関・研究者を支援することにより、我が国と開発途上国の共同研究を推進。

【支援規模・期間】

36百万円／年・課題（3～5年間）

採択課題数（見込み）

平成24年度 66課題 → 平成25年度 73課題



② 戦略的国際共同研究プログラム (SICORP)

H24年度：849百万円→H25年度：1,044百万円

政府間合意に基づき、戦略的に重要なものとして国が設定した相手国・地域及び研究分野において、国際共同研究を推進する。

【対象国】 ○欧米等先進諸国

○アジアにおける多国間の共同研究プログラム

【実施体制】 ※「戦略的国際科学技術協力推進事業」に準じる

【支援規模・期間】 6.5～100百万円／年・課題（3～5年間）

採択課題数（見込み）

平成24年度30課題

→平成25年度32課題

戦略的国際科学技術協力推進事業 (SICP)

平成25年度予定額：839百万円
 (平成24年度予算額：1,029百万円)

※運営費交付金中の推計額

政府間合意に基づき、戦略的に重要なものとして国が設定した相手国・地域及び研究分野において、研究集会開催、研究者派遣・招へい等を支援し、国際研究交流を推進する。

【実施体制】

科学技術振興機構（JST）と相手国資金配分機関が、対等な協力関係（イコールパートナーシップ）の下、連携して課題の公募・選定を実施し、それぞれ日本側研究機関・研究者及び相手国側研究機関・研究者を支援することにより、我が国と相手国の研究交流を推進。

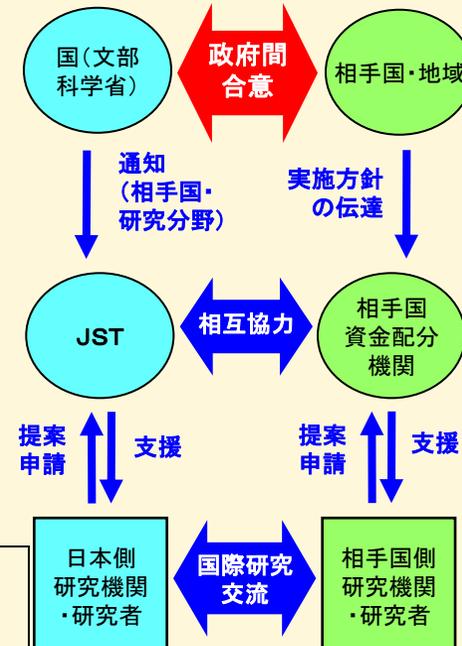
【支援規模・期間】

5～10百万円／年・課題（3年間）

採択課題数（見込み）

平成24年度 199課題

→平成25年度 153課題



平成25年度予定額：5,630百万円
 (平成24年度予算額：5,761百万円)
 ※運営費交付金中の推計額含む

海外特別研究員事業／外国人特別研究員事業

世界規模の「頭脳循環」の進展を踏まえ、世界に通用する人材を育成・確保するため、若手研究者に対する海外研鑽機会の提供や諸外国の優秀な研究者の招へいを実施。

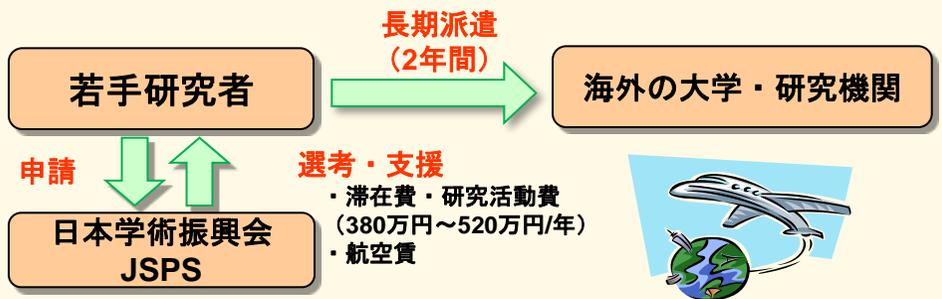
海外特別研究員事業

採用人数(見込み)
 平成24年度501人
 →平成25年度545人

H25年度予定額: 2,068百万円
 (H24年度予算額: 2,172百万円) ※運営費交付金中の推計額

【概要】

我が国の大学等研究機関に所属する常勤の研究者や博士の学位を有する者等の中から優れた若手研究者を「海外特別研究員」として採用し、所定の資金(往復航空賃、滞在費・研究活動費)の支給により、海外の大学等研究機関において長期間(2年間)研究に専念できるよう支援する。



- 【2年間の研究活動で期待される効果】**
- ★研究者自身のキャリアパスに資する研究能力の向上
 - ★具体的な研究成果(論文等)
 - ★外国語による十分なコミュニケーション能力の向上
 - ★将来の共同研究につながる研究者ネットワークの構築

外国人特別研究員事業

採用人数(見込み)
 平成24年度1,119人
 →平成25年度1,124人

H25年度予定額: 3,563百万円
 (H24年度予算額: 3,589百万円) ※運営費交付金中の推計額

【概要】

分野や国籍を問わず、外国人若手研究者を大学・研究機関等に招へいし、我が国の研究者と外国人若手研究者との研究協力関係を通じて、我が国全体の学術研究の推進及び国際化の進展を図る。

<外国人特別研究員>

- ・一般(12か月以上24か月以内)
- ・欧米短期(1か月以上12か月以内)
- ・夏期(夏期2か月)
- ・戦略(3か月以上12か月以内)

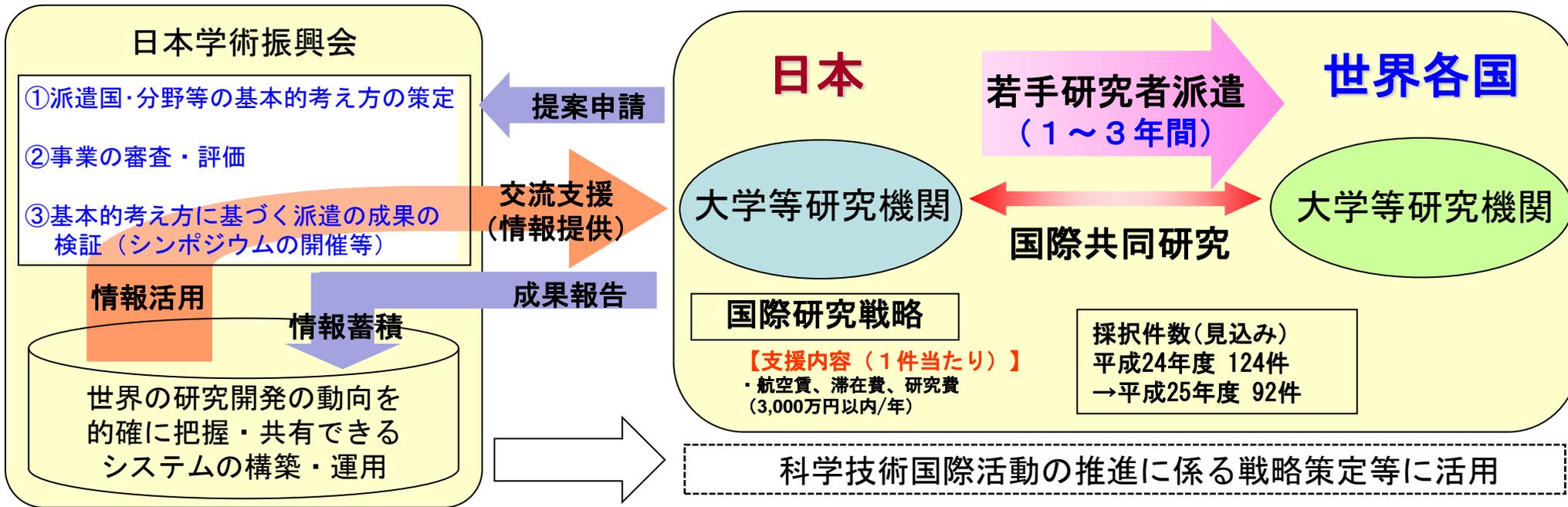
【支援内容(「一般」の場合)】

- ・滞在費(434万円/年)
- ・渡日一時金(20万円)
- ・航空賃

頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣事業

頭脳循環（※）において、国際研究ネットワークの核となる優れた研究者の育成を図るため、研究組織の国際研究戦略に沿って、若手研究者を海外へ派遣し、派遣先の研究機関との間で行う世界水準の国際共同研究に携わり、様々な課題に挑戦する機会を提供する大学等研究機関を支援する。

（※）頭脳循環
 高度な頭脳労働者が国境を超えて循環する動き。本施策では主として、我が国の研究者が海外で経験を積んだ後に帰国し、世界で活躍する人材として我が国の研究開発活動に貢献するようになることを想定している。



「科学技術基本計画」(平成23年8月19日 閣議決定)

IV.基礎研究及び人材育成の強化

3.科学技術を担う人材の育成 (2)独創的で優れた研究者の養成

<推進方策>

国は、優れた資質を持つ若手研究者や学生が海外で積極的に研鑽を積むことができるよう、海外派遣や留学促進のための支援を充実する。